

事業名	栃木県社会教育委員協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		開始年度	S39	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度		事業分類	参画事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	栃木県社会教育委員協議会に負担金を支出し、協議会に参加することにより、社会教育に関する情報収集や意見交換を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	栃木県社会教育委員協議会に参画し、社会教育について他市町社会教育委員との連携・参画支援により当市社会教育委員の資質向上を図る。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
社会教育委員数	人	18	18	18	18	18
社会教育委員研修出席率	%	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 栃木県社会教育委員協議会に負担金を支出、年2回の理事会、年1回の評議員会、年1回の研修会の参加を行う。 (協議会の活動) 年2回の理事会、年1回の評議員会の開催、社会教育に関する調査・研究と市町間の連携、研修事業の開催、関係機関の行う事業への協力。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
理事会等出席者数	人	2	2	2
社会教育委員研修出席者数	人	3	4	8
事業費計	千円	10	10	10
一般財源	千円	10	10	10
特定財源（国・県・他）	千円			
(うち受益者負担)	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	社会教育について他市町社会教育委員と連携・参画支援により、当市社会教育委員の資質向上が見られた。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
社会教育委員数	人	18	18	18	値が大きいほど良い	効果は変わらない
社会教育委員研修出席率	%	16.7	22.2	38.8	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	
	効果は変わらない指標数	1指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果が上がった	

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度は甲信越静社会教育大会が栃木で開催されたため、多くの学びがあった。次年度以降も同様の学びが見られるよう研修や大会への積極的な参加を促していく。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 社会教育委員に対し、研修や大会への積極的な参加を呼びかけ、社会教育委員としての資質のさらなる向上をめざす。
--	--

事業名	社会教育指導員設置事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課		社会教育指導員設置事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	佐野市社会教育指導員規則		開始年度	昭和 5 3	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度		事業分類	その他内部事務事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	社会教育関係の学習相談、社会教育団体の指導助言及び公民館の各種ボランティア養成、サークル指導・講座等の充実・活性化を図るため、社会教育指導員を設置する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民・社会教育団体の教育力を向上させる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		社会教育指導員の公民館における講座運営数	回	100	100	100	100	100
		主として関連した団体の事業執行率	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	生涯学習課社会教育係に 1 名、各公民館に 4 名（中央公民館、大伏地区公民館、城北地区公民館、田沼中央公民館）、計 5 名を配置し、年間を通して、各種事業の企画運営や、社会教育関係団体の育成を図った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		社会教育指導員の公民館における講座運営数	回	100	130	75
		関連した社会教育団体数	団体	4	2	2
		事業費計	千円	10,877	10,816	11,655
		一般財源	千円	10,877	10,816	11,655
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	各公民館において、講座の企画運営を行った。 佐野市小中義務教育学校PTA連絡協議会の事業執行に対し、支援を行った。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		社会教育指導員の公民館における講座運営数	回	100	130	75	値が大きいほど良い	効果が下がった
		主として関連した団体の事業執行率	%	100.0	100.0	100.0	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	1指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が下がった					○

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き、各公民館での講座の企画運営。及び関連する社会教育団体の事業執行支援を行う。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	社会教育担当職員研修派遣事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		開始年度	S50	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	-	事業分類	その他内部事務事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	国・県等の各種会議に職員を派遣するとともに、社会教育専門職員としての資質向上のため研修機会を確保し、社会教育の推進を図る。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	社会教育の推進、地域における社会教育活動の充実を目指し、職員等の資質の向上を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		研修を活かした事業の割合	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	県等が主催する会議、担当者会議に出席 ・社会教育関係職員研修 ・安足地区ふれあい学習研修会 ・安足地区生涯学習推進連絡会議 ・家庭教育・子育て支援担当者会議 ・地域コーディネーター養成研修	活動指標	単位	R3	R4	R5
		研修会派遣回数（延べ）	回	9	10	10
		事業費計	千円	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	多くの研修に参加できたことで職員の資質向上に繋がり、事業に研修を活かすことができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		研修を活かした事業の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し	○	
	指標全体	効果は変わらない		費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

社会教育の情勢は常に変化しているため、それに対応出来る社会教育担当者が望まれる。 そのため、研修参加のための職員の時間を確保し、より多くの研修会に参加できるようにする。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

事業名	作原野外活動施設擬木柵改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	生涯学習課		作原野外活動施設指定管理事業		款	10	新規or継続	新規事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	R5	事業分類	施設等整備事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	作原野外活動施設のキャンプ場内にある擬木柵が老朽化していることから、撤去及び新設工事を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	利用者に不都合なく安全に利用してもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		不都合なく安全利用できた利用者の割合	%			100		

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	擬木柵の撤去及び新設工事を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		改修施設数	施設			1
		事業費計	千円	0	0	10,736
		一般財源	千円			10,736
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	利用者に安全な環境を提供することができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		不都合なく安全利用できた利用者の割合	%			100	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

年度内に完了することができた。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	作原野外活動施設指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	生涯学習課		作原野外活動施設指定管理事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	S62	実施方法	指定管理者	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スポーツやレクリエーションを通して、市民の健康及び体力の向上並びに青少年の健全育成を図るため、作原野外活動施設を市民に提供する。指定管理者制度を導入し、作原地区むらづくり推進協議会が管理運営業務を行い、利用者に不都合なく安全に利用してもらう。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	作原野外活動施設を管理し、利用者に不都合なく安全に利用してもらう。
-------------------------	-----------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
不都合なく安全利用できた利用者の割合	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	開設期間：4月15日～11月15日 提供施設：センターハウス、調理研修棟、宿泊研修棟、体育館、キャンプ場、テニスコート、芝生広場 利用者数：1,715人 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が一時減少していたが、年々戻りつつある。
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
提供施設数	施設	7	7	7
利用者数	人	962	1,398	1,715
事業費計	千円	5,102	5,275	6,527
一般財源	千円	5,102	5,275	6,527
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	利用者に不都合なく安全に利用してもらうことができた。
------------------	----------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
不都合なく安全利用できた利用者の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数0指標
	効果は変わらない指標数1指標
	効果が下がった指標数0指標
	指標全体効果は変わらない

※ 1 0万円以上の増減により判断

効果			
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

指定管理者により適切に維持管理を実施しているが、施設の老朽化により日常的な維持管理では対応できない修繕箇所が見受けられた。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 指定管理者との連携を密にし、統一的な見解で業務に取り組む。
---	---

事業名	佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		開始年度	S47	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会に補助金を交付している。補助金は、この団体の運営費補助としての性格のものである。佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会はボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本連盟の諸規定に従い、青少年を育成し、相互の連絡提携を図り、もって地域社会や国際社会に貢献することを目的に設立した団体。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会の円滑な運営と財政の健全化を図り、学習で培った知識・技術を社会へ還元できる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		補助金執行率	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動)佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付) (佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会)佐野市事業に協力、組織の拡充と育成、指導者の育成	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	70	70	70
		一般財源	千円	70	70	70
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会に補助金を支出することにより、活動の充実と青少年の健全育成を図ることができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し		○	
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

青少年の生きる力を育むため、自然体験や集団宿泊体験等の様々なプログラム活動を作成する等、団体のより一層の活性化をめざす。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	図書館設備改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ	
	課	生涯学習課		図書館設備改修事業		款	10	新規or継続	新規事業	
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	3	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	R5	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	R5	事業分類	施設等整備事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市立図書館の老朽化した空調設備の改修、子ども用トイレの洋式化工事を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	利用者に不都合なく安全に利用してもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		不都合なく安全利用できた利用者の割合	%			100		

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	佐野市立図書館の設備改修工事 ・吸収冷温水機操作盤の改修 ・子ども用トイレの洋式化（男女各 2 台⇒各 1 台） 広く確保した個室におむつ替えシート等を設置	活動指標	単位	R3	R4	R5
		改修施設数	施設			1
		事業費計	千円	0	0	10,307
		一般財源	千円			
		特定財源（国・県・他）	千円			10,307
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	利用者に安全な環境を提供することができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		不都合なく安全利用できた利用者の割合	%			100	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

年度内の工事完了ができた。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	図書館等指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課		図書館等指定管理事業			款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係					項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称		根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			図書館法、佐野市図書館条例	事業開始年度	H25	実施方法	指定管理者
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	施設の設置者として、図書館の運営・維持管理について、業務の監視や実地調査、報告書の内容確認などを行うとともに、指定管理者に対し適正な指導・助言を行い、図書館及び視聴覚ライブラリーの利用の促進を図る。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	図書館等の指定管理者に適正な指導・助言を行うことにより、市民によりよい図書館サービスを提供する。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
入館者数	人	343,000	343,000	343,000	343,000	343,000
貸出点数	点	519,000	519,000	519,000	519,000	519,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	指定管理施設：図書館、田沼図書館、葛生図書館、視聴覚ライブラリー ・図書館資料の発注・除籍・寄贈受入の承認 ・各種行事の開催の承認 ・必要な修繕・工事箇所の把握、実施 ・月 1 回の図書館月例報告会の実施 ・指定管理者との連絡調整
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
月例報告会開催数	回	9	12	12
修繕・工事件数（市予算）	件	5	3	3
事業費計	千円	153,295	154,137	167,387
一般財源	千円	153,294	154,135	167,385
特定財源（国・県・他）	千円	1	2	2
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市民によりよい図書館サービスを提供することができた。 例えば、令和 5 年度から指定期間が始まった指定管理者により、電子図書館や子連れでも気軽に来館していただくための「のびのびタイム」など、新たな取り組みが始まった。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
入館者数	人	173,351	218,317	246,178	値が大きいか良い	効果が上がった
貸出点数	点	368,729	425,178	448,798	値が大きいか良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数2指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数0指標
	指標全体効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
費用が上がった	効果は上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

前年度より利用者、貸出点数ともに回復をしたが、いずれも新型コロナウイルス感染症以前の水準には戻っていない。 なお、費用が増加した要因は、令和 5 年度より指定管理期間が 3 期目に入ることに伴い、指定管理料を見直したためである。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ・行事等の充実及び広報活動強化により利用者数等の増を図る。 ・指定管理者との連携を密にし、統一的な見解で業務に取り組む。
---	---

事業名	図書館 P C B 廃棄物処理事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	生涯学習課		図書館 P C B 廃棄物処理事業		款	10	新規or継続	新規事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適	事業期間	開始年度	R5	実施方法	一部委託
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	正な処理の推進に関する特別		終了年度	R5	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進	措置法					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市立図書館のに保管している低濃度 P C B 廃棄物について、P C B 廃棄物処分計画指針に基づき処分を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	利用者に不都合なく安全に利用してもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		不都合なく安全利用できた利用者の割合	%			100		

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	佐野市立図書館に保管している低濃度 P C B 廃棄物（高圧トランス 3 台）の運搬・処分を行う。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		対象となるPCB廃棄物数	台			3
		事業費計	千円	0	0	521
		一般財源	千円			521
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	学習の場が整備されている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		不都合なく安全利用できた利用者の割合	%			100	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

年度内に工事完了ができた。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	図書館協議会運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	事業期間	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		開始年度	S26	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	-	事業分類	審議会等運営事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	図書館条例に基づく、図書館協議会の運営事業に伴う経費。
------	-----------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	よりよい図書館の運営が図られるよう、図書館協議会委員より意見や助言をいただく。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		協議会委員からの意見・助言数	件	15	15	15	15	15

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・図書館協議会の開催 第1回：6月22日（木） 出席委員12名 第2回：10月26日（木） 出席委員12名 ・指定管理事業評価の実施 2月15日（木）～3月8日（金） ・指定管理事業評価のための図書館見学会の開催 2月15日（木） 田沼図書館	活動指標	単位	R3	R4	R5
		図書館協議会開催数	回	2	2	2
		事業費計	千円	160	175	167
		一般財源	千円	160	175	167
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	協議会委員からの意見や助言を図書館運営に反映し、よりよい図書館運営を図ることができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		協議会委員からの意見・助言数	件	15	15	15	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標	費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した	○	
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果は変わらない			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

指定管理事業評価について、図書館見学会に加えて評価項目に対応した図書館事業説明の資料を作成し、分かりやすい評価の実施に努めた。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 指定管理事業評価について、より分かりやすく、また効果的な内容を検討する。 また、協議会委員に図書館の現状や課題、今後のあり方を把握・検討していただくため、現地視察や指定管理者とのより連携した情報共有の仕方について検討する。
---	--

事業名	中央公民館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課		中央公民館維持管理事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	中央公民館				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	S34	実施方法	一部委託
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	中央公民館兼佐野地区公民館の警備、清掃、各種保守、修繕等の維持管理を適切に実施し、公民館利用者や地域住民が安全で快適な施設利用ができるように事業を遂行する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施設の適切な維持管理による安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで、利用者数を増やす。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		中央公民館利用者数	人	17,600	20,300	23,400	24,500	25,700

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・消耗品費や修繕料等の需用費、通信運搬費や傷害保険料等の役務費、保守委託料や清掃委託料等の委託料、機械等借上料、土地借上料や受信料等の使用料及び賃借料等の施設維持管理に要する予算を執行した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		維持管理に要した費用	千円	10,931	13,061	15,564
		事業費計	千円	10,931	13,061	15,564
		一般財源	千円	8,790	9,765	12,321
		特定財源（国・県・他）	千円	2,141	3,296	3,243
		（うち受益者負担）	千円	2,141	3,296	3,243

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設の適切な維持管理により、公民館の利用者数は年々増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		中央公民館利用者数	人	14,989	21,315	24,419	優が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の老朽化や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	佐野各地区公民館維持管理事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課		佐野各地区公民館維持管理事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	H17	実施方法	一部委託
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野各地区公民館7館の施設保全及び維持管理に伴う事務経費。対象は、植野地区公民館、界地区公民館、犬伏地区公民館、城北地区公民館、旗川地区公民館、吾妻地区公民館、赤見地区公民館。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで、利用者数を増やす。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野各地区公民館の利用者数	人	80,000	90,000	100,000	110,000	115,000

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	市民に安心・安全に公民館を使用して頂けるよう、各地区公民館の維持補修及び管理を実施した（修繕及び警備、清掃、保守業務委託等を実施）。また、光熱水費等の支払いや、施設や事務に必要な消耗品の購入、公用車の車検時等における修繕等を実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		維持管理に要した費用	千円	24,107	28,955	29,254
		事業費計	千円	24,107	28,955	29,254
		一般財源	千円	23,431	28,083	27,966
		特定財源（国・県・他）	千円	676	872	1,288
		（うち受益者負担）	千円	676	872	874

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設の適切な維持管理を図ったことにより、佐野各地区公民館の利用者数が増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		佐野各地区公民館の利用者数	人	81,208	100,688	110,371	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		〇		
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

費用	費用は下がった	〇		
	費用の増減無し			
	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の老朽化に伴う設備の故障により、利用者が設備を使用することができなかったことに対し、早急に修繕するよう要望があった。利用者が、安全・安心に公民館を利用出来るように、施設の老朽化や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	佐野各地区公民館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係			項	4	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	佐野市公民館条例	事業開始年度	H 17	実施方法	一部委託
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野各地区公民館7館の施設保全及び維持管理に伴う事務経費。対象は、植野地区公民館、界地区公民館、犬伏地区公民館、城北地区公民館、旗川地区公民館、吾妻地区公民館、赤見地区公民館。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで、利用者数を増やす。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野各地区公民館の利用者数	人	80,000	90,000	100,000	110,000	115,000

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	市民に安心・安全に公民館を使用して頂けるよう、各地区公民館の維持補修及び管理を実施した（修繕及び警備、清掃、保守業務委託等を実施）。また、光熱水費等の支払いや、施設や事務に必要な消耗品の購入、公用車の車検時等における修繕等を実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		維持管理に要した費用	千円	24,107	28,955	29,254
		事業費計	千円	24,107	28,955	29,254
		一般財源	千円	23,431	28,083	27,966
		特定財源（国・県・他）	千円	676	872	1,288
		（うち受益者負担）	千円	676	872	874

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設の適切な維持管理を図ったことにより、佐野各地区公民館の利用者数が増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		佐野各地区公民館の利用者数	人	81,208	100,688	110,371	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の老朽化に伴う設備の故障により、利用者が設備を使用することができなかったことに対し、早急に修繕するよう要望があった。利用者が、安全・安心に公民館を利用出来るように、施設の老朽化や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	佐野各地区公民館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係			項	4	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	佐野市公民館条例	事業開始年度	H 17	実施方法	一部委託
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野各地区公民館7館の施設保全及び維持管理に伴う事務経費。対象は、植野地区公民館、界地区公民館、犬伏地区公民館、城北地区公民館、旗川地区公民館、吾妻地区公民館、赤見地区公民館。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで、利用者数を増やす。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野各地区公民館の利用者数	人	80,000	90,000	100,000	110,000	115,000

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	市民に安心・安全に公民館を使用して頂けるよう、各地区公民館の維持補修及び管理を実施した（修繕及び警備、清掃、保守業務委託等を実施）。また、光熱水費等の支払いや、施設や事務に必要な消耗品の購入、公用車の車検時等における修繕等を実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		維持管理に要した費用	千円	24,107	28,955	29,254
		事業費計	千円	24,107	28,955	29,254
		一般財源	千円	23,431	28,083	27,966
		特定財源（国・県・他）	千円	676	872	1,288
		（うち受益者負担）	千円	676	872	874

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設の適切な維持管理を図ったことにより、佐野各地区公民館の利用者数が増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		佐野各地区公民館の利用者数	人	81,208	100,688	110,371	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の老朽化に伴う設備の故障により、利用者が設備を使用することができなかったことに対し、早急に修繕するよう要望があった。利用者が、安全・安心に公民館を利用出来るように、施設の老朽化や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	中央公民館運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	生涯学習課		中央公民館運営事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	中央公民館				項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業 期間	目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	H7	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市中央公民館の会計年度任用職員に対する人件費及び夜間、週休日、休日に開館するための会計年度任用労務職員に対する人件費。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公民館を夜間、週休日及び休日に利用しやすくすることで利用者数を増やす。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		中央公民館利用者数	人	17,600	20,300	23,400	24,500	25,700

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	・会計年度任用職員 1 名により、施設の貸し出し業務、維持管理業務等の庶務事務を実施した。 ・会計年度任用労務職員 2 名により、平日の夜間（午後 5 時 1 5 分から午後 1 0 時まで）並びに週休日及び休日における施設の管理等を実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会計年度任用職員等の費用	千円	4,451	4,530	5,079
		事業費計	千円	4,451	4,530	5,079
		一般財源	千円	4,451	4,521	5,064
		特定財源（国・県・他）	千円		9	15
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設の適切な運営により、公民館の利用者数は年々増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		中央公民館利用者数	人	14,989	21,315	24,419	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し		
	指標全体	効果が上がった		費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公民館利用者が施設を利用しやすいよう、公民館職員の人件費および人員の確保により、公民館運営を適切に行うようにする。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	佐野各地区公民館運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	佐野市公民館条例	事業開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野各地区公民館7館の運営及び施設管理に伴う人件費等。対象は、植野地区公民館、界地区公民館、犬伏地区公民館、城北地区公民館、旗川地区公民館、吾妻地区公民館、赤見地区公民館。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで、利用者数を増やす。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野各地区公民館の利用者数	人	80,000	90,000	100,000	110,000	115,000

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	佐野各地区公民館7館の運営および施設管理に伴う報酬等の支払いを行った。 【令和5年度会計年度任用職員数】（令和6年3月31日現在） 主事：7名（平日8：30～17：00勤務） 管理員：18名（平日夜間、土日祝日勤務）	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会計年度任用職員等の費用	千円	33,094	28,085	28,699
		事業費計	千円	33,094	28,085	28,699
		一般財源	千円	33,007	28,012	28,590
		特定財源（国・県・他）	千円	87	73	109
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設の円滑な運営を図ったことにより、佐野各地区公民館の利用者数が増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		佐野各地区公民館の利用者数	人	81,208	100,688	110,371	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公民館利用者が施設を利用しやすいよう、各地区公民館の人件費及び人員の確保により、公民館運営を適切に行う。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	公民館親と子の交流活動事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	生涯学習課		公民館親と子の交流活動事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	中央公民館				項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	S51	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	－	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	5歳から8歳までの子どもとその親に対し、子の心身の健全な育成と親子の心の交流促進を図るうえで、学習グループ活動講座を土曜日又は日曜日の午前に行う。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	親と子の交流活動により学ぶ楽しさを知る、自己学習能力の向上並びに親子の信頼関係の醸成を推進する。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
講座内容が充実していたと感じる受講者割合	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・令和元年度から、親と子のふれあい活動を土曜日又は日曜日に、中央公民館及び田沼中央公民館の2館において開催している。 ・令和5年度は、親子で科学に親しもう、音楽とリズムで心も体もリフレッシュ、押し花ですてきなうちわを作ろう、みんなで楽しくパドル体操、折り紙でクリスマス飾りを作ろう、親子で仲良くミニ門松作りの各講座を開催した。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
講座回数	回	8	12	12
参加者延べ員数	人	332	361	291
事業費計	千円	1,900	1,966	2,131
一般財源	千円	1,896	1,960	2,121
特定財源（国・県・他）	千円	4	6	10
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	講座内容が充実していたと感じる受講者の割合は増加している。
------------------	-------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
講座内容が充実していたと感じる受講者割合	%	96	95	100	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果が上がった

※ 1 0万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

親と子が参加したいと思えるような講座内容を検討・企画し、多くの方に参加していただけるような講座を開催する必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	参加者に対するアンケート結果の分析や時代のニーズをとらえることにより、より多くの方が参加し、満足度の高い講座を企画する。また、オンライン開催については、要望があれば対応していく。

事業名	田沼中央公民館維持管理事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	1	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	田沼中央公民館				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	S61	実施方法	一部委託
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
			佐野市公民館条例						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	田沼中央公民館の維持管理運営を行う。警備、清掃、各種保守、修繕等の維持管理を適正に実施し、公民館利用者や地域住民が安全で快適な施設利用ができるように事業を遂行する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施設の適切な維持管理を行い、安全で快適な利用環境を提供する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		田沼中央公民館利用者数	人	20,000	20,000	20,000	25,000	25,000

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	・光熱水費や修繕料等の需用費、火災保険料等の役務費、大 ホール舞台管理業務委託や清掃委託料等の委託料、機械借上等 の施設維持管理に要する予算を執行した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		維持管理に要した費用	千円	20,953	23,321	25,490
		事業費計	千円	20,953	23,321	25,490
		一般財源	千円	18,057	19,840	21,885
		特定財源（国・県・他）	千円	2,896	3,481	3,605
		（うち受益者負担）	千円	2,896	3,481	3,605

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	田沼中央公民館の利用者数は適切な維持管理により増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		田沼中央公民館利用者数	人	14,076	19,463	22,994	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
		指標全体	効果が上がった	費用		
				費用は下がった		
				費用の増減無し		
				費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の老朽化や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	田沼各地区公民館維持管理事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課		田沼各地区公民館維持管理事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	田沼中央公民館				項	4	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	佐野市公民館条例		開始年度	H 17	実施方法	一部委託
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	田沼各地区公民館2館の維持管理を行う。対象は、田沼地区公民館、田沼南部地区公民館。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施設の適切な維持管理を行い、安全で快適な利用環境を提供する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		田沼各地区公民館の利用者数	人	8,000	8,000	8,500	9,000	9,000

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	田沼各地区公民館について安全で快適な利用を提供するため施設の維持管理を実施した。電気料、ガス代等光熱水費、傷害保険料等役務費、浄化槽の管理及び消防設備の保守についての委託料等の予算を執行した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		維持管理に要した費用	千円	2,469	2,785	2,544
		事業費計	千円	2,469	2,785	2,544
		一般財源	千円	2,399	2,624	2,295
		特定財源（国・県・他）	千円	70	161	249
		（うち受益者負担）	千円	70	161	128

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	田沼各地区公民館施設の利用者数は適切な維持管理により増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		田沼各地区公民館の利用者数	人	7,072	8,049	8,419	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		〇		
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

費用	費用は下がった	〇		
	費用の増減無し			
	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の老朽化や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	田沼中央公民館運営事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	田沼中央公民館				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	H7	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
				佐野市公民館条例					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	田沼中央公民館の会計年度任用職員に対する人件費。
------	--------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公民館利用者数を増やす。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		中央公民館利用者数	人	20,000	20,000	20,000	25,000	25,000

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	・会計年度任用職員 2 名により、施設の貸し出し業務、維持管理業務等の庶務事務を実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会計年度任用職員等の費用	千円	4,987	4,876	5,571
		事業費計	千円	4,876	4,876	5,571
		一般財源	千円	4,860	4,860	5,543
		特定財源（国・県・他）	千円	16	16	28
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	田沼中央公民館の利用者数は適切な運営により増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		中央公民館利用者数	人	14,076	19,463	22,994	値が大きいか小さい	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数				
	効果が下がった指標数				
	指標全体	効果が上がった	費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した

費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

利用者が施設を利用しやすいよう、公民館職員の人権費及び人員の確保により、公民館運営を適切に行うようにする。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	田沼各地区公民館運営事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		佐野各地区公民館運営事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	田沼中央公民館				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野各地区公民館 1 1 館の運営に伴う人件費等。対象は、田沼地区公民館、田沼南部地区公民館、栃本地区公民館、田沼北部地区公民館、戸奈良地区公民館、三好地区公民館、野上地区公民館、山園地区公民館、閑馬地区公民館、下彦間地区公民館、飛駒地区公民館。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	館長、主事により適切に公民館を運営し、利用者数を増やす。
-------------------------	------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
佐野各地区公民館の利用者数	人	8,000	8,000	8,500	9,000	9,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	田沼各地区公民館 1 1 館の運営に伴う報酬等の支払いを行った。 【令和5年度会計年度任用職員数】（令和6年3月31日現在） 館長：11名 主事：11名
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
会計年度任用職員の費用	千円	1,699	1,696	1,688
事業費計	千円	1,699	1,696	1,688
一般財源	千円	1,699	1,696	1,688
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	田沼各地区公民館11館の利用者数は適切な運営により増加している。
------------------	----------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
田沼各地区公民館の利用者数	人	7,072	8,049	8,419	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果が上がった	

※ 1 0万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

田沼各地区公民館の事業実施の中心としての役割を担う館長及び主事を確保するため、人権費を確保し、適切な運営が行えるようにする。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

事業名	田沼各地区公民館活動事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課		田沼各地区公民館活動事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	田沼中央公民館				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	佐野市公民館条例	事業開始年度	S26	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	田沼各地区公民館（11館）において実施する公民館活動に係る消耗品の経費。
------	--------------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	田沼各地区公民館が地域住民に学習の機械を提供すること。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		田沼各地区公民館利用者数	人	8,000	8,000	8,500	9,000	9,000

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	・公民館活動に必要な紙類等の消耗品の購入を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		消耗品購入費用	千円	16	16	15
		事業費計	千円	16	16	15
		一般財源	千円	16	16	15
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	田沼各地区公民館11館の利用者数は適切な運営により増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		田沼地区公民館利用者数	人	7,072	8,049	8,419	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数				
	効果が下がった指標数				
	指標全体	効果が上がった	費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した

費用

○

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	田沼各地区公民館活動支援事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		田沼各地区公民館活動支援事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	田沼中央公民館				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	佐野市公民館条例		開始年度	S26	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	－	事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	田沼各地区公民館 1 1 館の各種講座やイベント等公民館活動運営に対しての交付金。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	地域住民の学びの機会が確保されている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野各地区公民館の利用者数	人	8,000	8,000	8,500	9,000	9,000

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	田沼各地区公民館 1 1 館の各運営組織が交付金を活用し講座、 研修会（視察含む）、文化祭、世代間交流事業等を実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		講座等の開催回数	千円	13	32	50
		事業費計	千円	1,144	1,144	1,144
		一般財源	千円	1,144	1,144	1,144
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	田沼各地区公民館 1 1 館の利用者数は適切な運営により増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		田沼各地区公民館の利用者数	人	7,072	8,049	8,419	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した	○	
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	葛生地区公民館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	葛生地区公民館			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	事業期間	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		開始年度	S54	実施方法	一部委託
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	葛生地区公民館の維持管理。
------	---------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	葛生地区公民館の利用者が安全で快適に施設を利用できるように、施設の維持管理を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		葛生地区公民館利用者数	人	3,000	4,000	5,000	5,000	5,000

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	葛生地区公民館の維持管理、休日、夜間の施設管理委託。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		施設管理委託契約	件	1	1	1
		事業費計	千円	911	979	1,159
		一般財源	千円	880	948	1,124
		特定財源（国・県・他）	千円	31	31	35
		（うち受益者負担）	千円	31	31	35

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	葛生地区公民館を適切に維持できていることにより、利用者数が増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		葛生地区公民館利用者数	人	3,159	4,954	5,569	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設、備品が老朽化しており、施設の適切な修繕による維持、改修等の検討が必要。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 利用者が安全、安心、安全に公民館を利用できるように、施設、備品の適切な修繕などを行っていく。
---	--

事業名	葛生（常盤・氷室）公民館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し	
	課	生涯学習課		葛生（常盤・氷室）公民館		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	葛生地区公民館		維持管理事業		項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	S46	実施方法	一部委託	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	常盤地区公民館と氷室地区公民館の維持管理。
------	-----------------------

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	常盤地区公民館と氷室地区公民館の利用者が安全で快適に施設を利用できるように、施設の維持管理を行う。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
常盤地区公民館利用者数	人	3,000	3,500	4,000	4,000	4,000
氷室地区公民館利用者数	人	1,000	1,200	1,600	1,600	1,600

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R5年度に行った主な活動内容）	施設の維持管理のための点検、機器の保守。
--------------------------	----------------------

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
電気設備の点検(常盤)	回	7	7	7
浄化槽の点検（常盤、氷室）	回	12	12	12
消防設備点検（常盤、氷室）	回	12	12	12
事業費計	千円	2,714	2,928	3,275
一般財源	千円	2,687	2,900	3,262
特定財源（国・県・他）	千円	27	28	13
（うち受益者負担）	千円	27	28	13

（3）活動による効果

効果説明 （定量及び定性）	常盤地区公民館と氷室地区公民館を適切に維持できていることにより、利用者数が増加している。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
常盤地区公民館利用者数	人	3,159	3,919	4,428	値が大きいほど良い	効果が上がった
氷室地区公民館利用者数	人	1,098	1,238	1,913	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	
効果 （R5とR4の 指標値増減）	効果が上がった指標数	2指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果が上がった	

※ 1 0万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公民館が老朽化しており、施設の適切な修繕による維持、改修等の検討が必要。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明	
☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	利用者が安全、安心、安全に公民館を利用できるように、施設の適切な修繕などを行い、電気料の高騰を踏まえ、施設の維持管理、運営を行っていく。また、耐震性能を満たしていない常盤地区公民館に関し、移転等の対応を行う。

事業名	葛生地区公民館運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し	
	課	生涯学習課		葛生地区公民館運営事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	葛生地区公民館				項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	H17	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	葛生地区公民館の会計年度職員の人件費。
------	---------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	葛生地区公民館の会計年度職員の人件費。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		葛生地区公民館利用者数	人	3,000	4,000	5,000	5,000	5,000

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	葛生地区公民館の開館、教養講座の開催、サークル活動支援の人件費。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		サークル登録団体のべ利用件数	件	204	262	282
		事業費計	千円	4,892	4,858	5,344
		一般財源	千円	4,879	4,842	5,317
		特定財源（国・県・他）	千円	13	16	27
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	葛生地区公民館を適切に運営していることにより、利用者数が増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		葛生地区公民館利用者数	人	3,335	4,954	5,569	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった		○		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

葛生地区公民館を適切に運営していくうえで、必要な事業費なので、今後も継続していく必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	葛生（常盤・氷室）公民館運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し	
	課	生涯学習課		葛生（常盤・氷室）公民館		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	葛生地区公民館		運営事業		項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	H17	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
				佐野市公民館条例						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	常盤地区公民館と氷室地区公民館の会計年度任用職員の人件費。
------	-------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	常盤地区公民館と氷室地区公民館の会計年度任用職員の人件費。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		常盤地区公民館利用者数	人	3,000	3,500	4,000	4,000	4,000
		氷室地区公民館利用者数	人	1,000	1,200	1,600	1,600	1,600

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	常盤地区公民館と氷室地区公民館の開館、教養講座の開催、サークル活動支援の人件費。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		サークル登録団体のべ利用件数（常盤）	件	135	194	181
		サークル登録団体のべ利用件数（氷室）	件	48	65	66
		事業費計	千円	7,927	5,536	6,032
		一般財源	千円	7,906	5,517	6,001
		特定財源（国・県・他）	千円	21	19	31
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	常盤地区公民館と氷室地区公民館を適切に運営していることにより、利用者数が増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		常盤地区公民館利用者数	人	3,159	3,919	4,428	値が大きいほど良い	効果が上がった
		氷室地区公民館利用者数	人	1,098	1,238	1,913	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

常盤地区公民館と氷室地区公民館を適切に運営していくうえで、必要な事業費なので、今後も継続していく必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	生涯学習推進協議会運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	事業期間	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		開始年度	H2	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	－	事業分類	審議会等運営事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市長の諮問に応じ、生涯学習の推進に関し必要な事項を調査・審議する他、市民の学習ニーズや課題等に関する提言を行う審議会等の運営。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	生涯学習推進基本計画の推進により、生涯にわたって学び続け、自己を高めていくことができる生涯学習環境の充実を図る。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
学習環境が整っていると感じる市民の割合	%	55	55	55	55	55

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	「第2次佐野市生涯学習推進基本計画中期計画」をもとに、佐野市の生涯学習の課題や現状を把握した。 推進協議会：令和5年9月27日開催し、成果指標の報告を行った。 推進本部会：成果指標の達成状況実績を報告してもらい、現状を把握した。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
生涯学習推進協議会開催数	回	3	2	1
事業費計	千円	296	190	91
一般財源	千円	296	190	91
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	若干ではあるが、学習環境が整っていると感じる市民の割合が増加した。
------------------	-----------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
学習環境が整っていると感じる市民の割合	%	40	41	44	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	
効果 （R5とR4の 指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果が上がった	

※ 1 0万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	生涯学習情報収集・発信事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	1-①	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	該当あり

1．基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		生涯学習情報収集・発信事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	-		開始年度	H2	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	-	事業分類	啓発事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	広範囲にわたる多様な生涯学習情報を収集し、市民に発信する。
------	-------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	より多くの学習情報や学習機会の充実を図ることにより、生涯学習への興味・関心を高め、施設の利用、講座への参加を促進する。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
学習メニュー・講座メニュー数	件	720	720	720	720	720
講座受講者数	人	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	広報さのへの特集記事「オープン」の掲載（3月号） 生涯学習メニューパンフレットの発行（4月、10月） 庁内・関連施設等の生涯学習情報を収集し、その情報を特集記事「オープン」、生涯学習メニューパンフレット及びホームページ等へ掲載することにより、市民へ提供した。
----------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
「オープン」掲載回数	回	1	1	1
オープン掲載広報発行数	部	45,900	45,900	46,200
メニューパンフレット発行数	部	1,050	1,050	1,100
事業費計	千円	61	103	64
一般財源	千円	61	103	64
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	学習メニュー・講座メニュー数及び講座受講者数がともに増加した。また、生涯学習メニューパンフレットの需要が高まったため、発行数も増加した。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
学習メニュー・講座メニュー数	件	427	560	622	値が大きいくらい良い	効果が上がった
講座受講者数	人	7,609	17,275	17,886	値が大きいくらい良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果が上がった	

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公民館等の生涯学習施設との情報交換を積極的に行い、より多くの生涯学習情報を収集する。また、効果的な情報発信を行うため、メニューパンフレットの配布先を増やすことや、近隣市や他課のイベント開催時等で情報を発信するなどの工夫が必要である。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 紙媒体やホームページを相互利用することにより、効果的な情報収集を行うとともに、発信については、わかりやすく繰り返し情報を発信する。また、市民の生涯学習活動の紹介などを充実させることにより、生涯学習情報への関心を高める工夫をする。
---	--

事業名	両毛広域生涯学習ネットワーク推進事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業開始年度	H6	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	－	事業分類	参画事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	両毛6市(足利・佐野・桐生・太田・館林・みどり)の生涯学習・社会教育主管課が、連携・協働により両毛地域での広域生涯学習ネットワークの構築を図る協議会への参画。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	会員（両毛6市生涯学習担当課職員）、各市公民館職員の人的ネットワークが構築され、各市の市民が市外の生涯学習情報を得ることができる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		生涯学習のホームページへのアクセス数	件	81,000	69,000	73,000	77,000	81,000
		学習の環境が整っていると感じる市民の割合	%	55	55	55	55	55

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	市：負担金40千円の支出、担当者会議等への出席、両毛コーナーパネルの展示等。 協議会：生涯学習情報誌「ASKOTM」の発行(隔年)、イベント情報誌の作成・発行(毎年)、PR事業としてデジタルスタンプラリーの企画。各市イベント等にて両毛コーナー出展。総会(6月)、担当者会議(全4回)の開催等。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		両毛6市コーナー出展回数	回	2	6	6
		「ASKOTM」配布部数	部	0	1,200	0
		会議開催回数	回	6	4	4
		事業費計	千円	40	40	40
		一般財源	千円	40	40	40
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	両毛6市の生涯学習担当課のネットワークを通じて、広域的な生涯学習活動の支援を行うことができた結果、学習の環境が整っていると感じる市民の割合が増加した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		生涯学習のホームページへのアクセス数	件	34,659	32,677	33,184	値が大きいほど良い	効果が上がった
		学習の環境が整っていると感じる市民の割合	%	40	41	44	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

さらに市民に開かれた協議会とするため、より効果の高いPR事業について協議を行い、令和6年度からはデジタルスタンプラリーを開催する予定である。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 令和6年度から実施予定のデジタルスタンプラリーについて広報やSNS等を利用して市民へ周知し、より多くの人に参加してもらうことで市民に開かれた協議会を目指す。
---	--

事業名	全国生涯学習市町村協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課		全国生涯学習市町村協議会		款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係		参画事業		項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業 期間	開始年度	H11	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	-	事業分類	参画事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	生涯学習社会の実現を目指す市長村長が一堂に会し、各々の市町村の中で生涯学習を総合行政としてとらえ、地域を挙げて住民が主役の「生涯学習まちづくり」を推進するとともに、関係機関・団体等と協力しながら、会員相互の連携を深め、情報交換・政策研究等を行い、新時代に向けたよりよいまちづくりを推進する協議会への参画。
------	--

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	行政における生涯学習の政策研究及び情報交換を行い、総合的な生涯学習の施策の推進を図る。また、協議会に加盟する市町村の先進的事例などの学習機会や情報交流機会が市民に提供される。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
生涯学習のホームページへのアクセス数	件	81,000	69,000	73,000	77,000	81,000
学習の環境が整っていると感じる市民の割合	%	55	55	55	55	55

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R 5 年度に行った主な活動内容）	市：全国生涯学習市町村協議会に負担金の支出。 7月27日(木) 役員会及び総会に出席。 協議会：年1回の総会、役員会、研修会、広報活動等を実施。生涯学習に関する情報収集と会員市への情報提供、国への要望活動等。
----------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
会議等出席回数	回	0	1	1
事業費計	千円	30	34	34
一般財源	千円	30	34	34
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 （定量及び定性）	役員会及び総会に出席し、加盟市町村との交流や情報交換を行い、本市での事業や取り組みについて情報提供を行った。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
生涯学習のホームページへのアクセス数	件	34,659	32,677	33,184	値が大きいほど良い	効果が上がった
学習の環境が整っていると感じる市民の割合	%	40	41	44	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	
効果 （R5とR4の 指標値増減）	効果が上がった指標数	2指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果が上がった	

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

本市の事業について、会長市や総会等を通じて周知に努めていく。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	生涯学習に関する職員等研修会事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		生涯学習に関する職員等研修会事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	H8	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	－	事業分類	その他内部事務事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	生涯学習を全市全庁的なものとして推進するため、自治体としての役割・必要性について職員等への研修を行う。 各種研修機関の研修会に参加し、情報の収集・資質向上を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	職員として、生涯学習を全市、全庁的なものとして取り組むための理解を深める。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		研修に参加した職員の数／対象職員	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	①生涯学習推進初任者研修会参加（4回中1回はオンライン実施） ②生涯学習に関する職員等研修会 令和5年11月2日 佐野市役所大会議室AB 40名 令和6年3月2日 佐野市文化会館での生涯学習フォーラムについては対象外	活動指標	単位	R3	R4	R5
		生涯学習に関する研修会への参加	回	4	3	4
		生涯学習について職員等の研修会開催	回	－	1	1
		事業費計	千円	0	20	20
		一般財源	千円	0	20	20
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	研修に参加した職員数が増加した。また、研修への参加により生涯学習についての理解を深めることができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		研修に参加した職員の数／対象職員	%	－	75.5	76.9	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し	○	
	指標全体	効果が上がった		費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

一人でも多くの職員に研修に参加してもらえるよう各課に働きかけることで、意識の向上を図る。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 現状に即した講師・テーマの選定を行い、職員の生涯学習への理解を深めていく。
---	---

事業名	各地区公民館トイレ洋式化等事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ	
	課	生涯学習課		各地区公民館トイレ洋式化等事業		款	10	新規or継続	新規事業	
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	R5	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	R7	事業分類	施設等整備事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
				根拠法令、条例等						
				佐野市公民館条例						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	公民館利用者の利便性を高めるため、各地区公民館のトイレ洋式化等工事を行う。
------	---------------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで、利用者数を増やす。
-------------------------	----------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
佐野各地区公民館の利用者数	人	80,000	90,000	100,000	110,000	115,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	・植野地区公民館 トイレ洋式化（男 4 女 6）多目的トイレ改修 ・吾妻地区公民館 トイレ洋式化（男 2 女 3）多目的トイレ改修 ホールから機材器具置き場への出入り口設置 新たな湯沸しスペースの設置（玄関脇冷水器部分） ・赤見地区公民館 トイレ洋式化（男 3 女 4）多目的トイレ改修
----------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
改修工事に要した費用	千円	0	0	29,282
事業費計	千円	0	0	29,282
一般財源	千円	0	0	182
特定財源（国・県・他）	千円			29,100
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	学習の場が整備されたことにより、佐野各地区公民館の利用者数が増加している。
------------------	---------------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
佐野各地区公民館の利用者数	人	81,208	100,688	110,371	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数1指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数0指標
	指標全体効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

予定した 3 公民館のトイレ洋式化等改修工事を行い、利用者の利便性を高められた。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 事業終了
--	------------------

事業名	各地区公民館空調設備等改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	生涯学習課		各地区公民館空調設備等改修事業		款	10	新規or継続	新規事業
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	R7	事業分類	施設等整備事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
			佐野市公民館条例						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	老朽化により代替え部品がなく、修理できない各地区公民館の空調設備等改修工事を行い、公民館利用者の利便性を高める。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで、利用者数を増やす。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		生涯学習施設の利用者数	千人	1,075	1,010	1,010	1,010	1,010

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	・犬伏地区公民館及び城北地区公民館 空調設備更新のためのコスト比較及び実施設計を行う。 ・葛生文化センター 空調機器工事、空調工事、発生材運搬、 天カセ 4 方向業務用エアコン（室外機 1 台・室内機 2 台） 消防用設備等交換修繕	活動指標	単位	R3	R4	R5
		改修工事に要した費用	千円	0	0	6,050
		事業費計	千円	0	0	6,050
		一般財源	千円	0	0	150
		特定財源（国・県・他）	千円			5,900
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	学習の場が整備されたことにより、生涯学習施設の利用者数が増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		生涯学習施設の利用者数	千人	458	635	743	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

予定した 3 公民館の空調設備等改修工事及び設計を行い、利用者の利便性を高められた。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 事業終了
--	------------------

事業名	各地区公民館PCB廃棄物処理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	生涯学習課		各地区公民館PCB廃棄物処理事業		款	10	新規or継続	新規事業
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	R5	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
				根拠法令、条例等					
				廃棄物の処理及び清掃に関する法律					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	PCB廃棄物処分年度計画に基づき、各地区公民館のPCB廃棄物の処分を行う。
------	---------------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで、利用者数を増やす。
-------------------------	----------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
生涯学習施設の利用者数	千人	1,075	1,010	1,010	1,010	1,010

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	植野地区公民館、界地区公民館、旗川地区公民館、赤見地区公民館、葛生文化センターに保管してある低濃度PCB廃棄物の処分を行う。 ・変圧器5台、コンデンサ2台
----------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
処分に要した費用	千円	0	0	794
事業費計	千円	0	0	794
一般財源	千円	0	0	794
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	学習の場が整備されたことにより、生涯学習施設の利用者数が増加している。
------------------	-------------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
生涯学習施設の利用者数	千人	458	635	743	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数1指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数0指標
	指標全体効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

PCB廃棄物処分年度計画に基づき、各地区公民館のPCB廃棄物の処分を行えた。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 事業終了
--	------------------

事業名	各地区公民館等耐震診断事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ	
	課	生涯学習課		各地区公民館等耐震診断事業		款	10	新規or継続	新規事業	
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			公共工事の品質確保の促進 に関する法律	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	R5	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	耐震診断未実施の防災上重要な公民館等の耐震診断の実施。
------	-----------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで、利用者数を増やす。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		生涯学習施設の利用者数	千人	1,075	1,010	1,010	1,010	1,010

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	耐震診断業務を委託した。 ・新吉水地区コミュニティセンター ・葛生文化センター ・常盤地区公民館 ・氷室地区公民館	活動指標	単位	R3	R4	R5
		委託に要した費用	千円	0	0	20,001
		事業費計	千円	0	0	20,001
		一般財源	千円	0	0	15,953
		特定財源（国・県・他）	千円			4,048
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	学習の場が整備されたことにより、生涯学習施設の利用者数が増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		生涯学習施設の利用者数	千人	458	635	743	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4．次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

耐震診断をした 4 施設のうち、3 施設について耐震補強が必要ことがわかり、補強工事等に向けた方向性を決められた。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 事業終了
--	------------------

事業名	公民館運営審議会運営事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		公民館運営審議会運営事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	S34	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	－	事業分類	審議会等運営事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	公民館条例に基づく、市公民館24館共有の公民館運営審議会の運営事業に伴う経費。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公民館がより一層利用しやすくなるよう意見や提言をいただくため、多くの運営審議会委員に出席いただく。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
運営審議会委員出席数	人	15	15	15	15	15

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	佐野市公民館運営審議会開催 日時：令和5年5月26日(金) 午前10時～ 場所：佐野市役所（1階）市民活動スペース 出席者：委員12名 事務局：8名
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
公民館運営審議会開催数	回	1	1	1
事業費計	千円	61	84	84
一般財源	千円	61	84	84
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	運営審議会の出席者数は年によりばらつきがある。
------------------	-------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
運営審議会委員出席数	人	11	14	12	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	1指標	
	指標全体	効果が下がった	

※ 1 0万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		○
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

運営審議会委員の意見を公民館の運営に多く取り入れられるよう、多くの委員に出席していただけるよう、日程等に配慮する。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	市民大学開設事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	生涯学習課		市民大学開設事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	S47	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	－	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
				佐野市民大学企画運営スタッフ設置要綱						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市民の各層に生涯学習の機会を提供するため、市民公募の企画運営スタッフによる企画立案を取り入れた魅力ある講座等を開催する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民に学ぶ楽しさを知ってもらい、学習意欲を高め、豊かな教養を身につけてもらう。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
延べ参加者数	人	－	120	120	160	160
受講して良かったと感じた者の割合	%	－	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	「生涯学習プログラム開発実践講座」と併催で事業を実施した。 ・立正大学デリバリーカレッジを活用し、10月14日(土)、10月21日(土)、12月9日(土)の3回講座を実施した。 ・市民大学を企画・運営するためのスタッフ会議を、6月から11月に4回開催した。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
講座開催数	回	0	3	3
企画運営スタッフ会議開催数	回	3	5	4
事業費計	千円	0	25	36
一般財源	千円	0	25	36
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	延べ参加者者数はほぼ横ばいであったが、受講して良かったと感じた者の割合が増加した。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
延べ参加者数	人	－	98	104	値が大きいほど良い	効果が上がった
受講して良かったと感じた者の割合	%	－	75	90	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数2指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数0指標
	指標全体効果が上がった

※ 1 0万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

より多くの方に参加してもらうため、社会情勢に即した内容が求められる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り） ボランティアで構成される企画運営スタッフを増やすことにより、市民ニーズをとらえた講座を企画し、受講者数の増加を目指す。また、オンライン開催については、要望があれば対応していく。

事業名	中央公民館市民教養講座開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	生涯学習課		中央公民館市民教養講座開		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	中央公民館		催事業		項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	S34	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	－	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
				社会教育法 佐野市公民館条例						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	地域住民に生涯学習の機会を提供するため、中央公民館市民教養講座を開催する。
------	---------------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し 遂げたい 状態)	地域住民が直面する様々な課題を解決するための学習機会と併 せ、5月から12月まで開催する。 潤いを与え、生きがいを感じられるような知識・趣味的内容の学習機 会を提供する。
---------------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
講座に参加し満足した受講者の割合	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	・市民教養講座「ゆうゆう人生応援塾」において、郷土史・人権・健 康・芸能・音楽に関する講座を開催した。 ・市民教養講座「中央趣味講座」において、オカリナ・ヨガ・足つぼマッ サージ・パドル体操・スマホ・料理・園芸・合唱・折り紙教室を開催し た。 ・ゆうゆう人生応援塾企画運営スタッフ会議を開催した。
----------------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
講座回数（ゆうゆう人生応援塾）	回	5	9	9
講座回数（中央趣味講座）	回	5	13	10
延参加者数（ゆうゆう人生応援塾）	人	417	469	378
延参加者数（中央趣味講座）	人	84	171	158
事業費計	千円	76	86	99
一般財源	千円	76	86	99
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	講座に参加し満足した受講者の割合は、年度によってばらつきはあ るものの全体的に高くなっている。
----------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
講座に参加し満足した受講者の割合	%	98.4	100.0	98.3	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	1指標	
	指標全体	効果が下がった	

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		○
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市民が参加したいと思えるような講座内容を検討・企画し、多くの方に参加していただけるような講座を開催する必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
参加者に対するアンケート結果の分析や時代のニーズをとらえることにより、より多くの方が参加し、満足度の高い講座を企画する。また、オンライン開催については、要望があれば対応していく。

事業名	佐野各地区公民館市民教養講座開催事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		佐野各地区公民館市民教養講座開催事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法 佐野市公民館条例	事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	－	事業分類	イベント等開催事業	
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	地域住民が直面する様々な課題を解決するための学習機会と併せ、余暇を利用して楽しみながら学習することにより、毎日の生活に潤いを与え、生きがいを感じられるような知識・趣味的内容の学習機会を提供することを目的とする市民教養講座の開催。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	講座に参加し、その内容に満足することで、市民の自己学習能力向上につなげる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		講座に参加し満足した受講者の割合	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	佐野各地区公民館（植野、界、犬伏、城北、旗川、吾妻、赤見）における市民教養講座の開催。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		講座開催回数	回	67	118	126
		事業費計	千円	257	350	386
		一般財源	千円	257	350	386
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	講座に参加し満足した受講者の割合は、年度によってばらつきはあるものの全体的に高くなっている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		講座に参加し満足した受講者の割合	%	96	95	97	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			○			
	効果が下がった指標数	0指標						
	指標全体	効果が上がった						

費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市民が参加したいと思えるような講座内容を検討・企画し、多くの方に参加していただけるような講座を開催する必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 参加者に対するアンケート結果の分析や時代のニーズをとらえることにより、より多くの方が参加し、満足度の高い講座を企画する。また、オンライン開催については、要望があれば対応していく。
---	---

事業名	栃木県公民館連絡協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		期間終了年度	-	事業分類	参画事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	栃木県公民館連絡協議会に会員自治体として負担金を支出している。協議会は各部会(館長・主事) 活動を実施し、加盟する県内市町村の公民館関係者として研修会企画・広報誌作成・調査研究を実施している。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	栃木県公民館連絡協議会に加盟し、各部会、部会内研修会等に参加することによって県内の他市町公民館運営方法、講座内容等の情報を得ることにより、本市での公民館活動に活かす。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		公民館等の利用者数	千人	250	250	250	250	250

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	(佐野市の活動)協議会の負担金の支出、総会、役員会、館長部会、主事部会への参加。 (協議会の活動)総会、役員会、各部会、研修会の開催。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		総会開催回数	1	1	1	1
		主事部会(調査・研究)による情報提供	回	1	1	1
		事業費計	千円	129	129	129
		一般財源	千円	129	129	129
		特定財源（国・県・他）	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	協議会への参加により、県教委、県内他市町公民館と情報共有が行われ、公民館活動が活発化し、利用者数が増加した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		公民館等の利用者数	千人	125	160	179	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

協議会での主事部会や研修会を通じて、県内各地区公民館の取り組み等を情報共有し、より活発な公民館活動へとつなげる。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	田沼中央公民館市民教養講座開催事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課		田沼中央公民館市民教養講座開催事業			款	10	新規or継続	継続事業
	係	田沼中央公民館		座開催事業			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		社会教育法 佐野市公民館条例		開始年度	S61	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	-	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	地域住民に生涯学習の機会を提供するため、田沼中央公民館市民教養講座を開催する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が楽しく学ぶ機会及び市民が抱える課題課題解決のための学習機会が充実している。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
講座に参加し満足した受講者の割合	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・ふるさと創生セミナーにおいて、人権・防犯・健康・芸能・音楽に関する講座を開催した。 ・趣味の講座において、クラフト・健康体操・観葉植物育成・足つば・帽子作り・スマホケース作り・スマホ体験・折り紙・しめ縄作りを開催した。
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
講座回数	回	15	17	19
延講座参加者数	人	546	836	760
事業費計	千円	71	73	53
一般財源	千円	71	73	53
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	講座に参加し満足した受講者の割合は、年度によってばらつきはあるものの全体的に高くなっている。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
講座に参加し満足した受講者の割合	%	97.8	98.3	99.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果が上がった	

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市民が参加したいと思うような講座内容を検討・企画し、多くの方に参加していただけるような講座を開催する必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	参加者に対するアンケート結果の分析や時代のニーズをとらえることにより、より多くの方が参加し、満足度の高い講座を企画する。また、オンライン開催については、要望があれば対応していく。

事業名	葛生文化センター維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課		葛生文化センター維持管理事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	葛生地区公民館				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	S54	実施方法	一部委託
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	葛生文化センターの維持管理。
------	----------------

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	葛生文化センターの利用者が安全で快適に施設を利用できるように、施設の維持管理を行う。
-------------------------	--

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
葛生地区公民館利用者数	人	3,000	4,000	5,000	5,000	5,000
葛生化石館利用者数	人	23,400	23,600	23,800	24,000	24,200

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	葛生文化センターの維持管理。
--------------------------	----------------

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
電気工作物保守点検	回	13	13	13
消防用設備保守点検	回	2	2	2
展示室燻蒸処理	回	1	1	1
事業費計	千円	8,127	8,501	8,291
一般財源	千円	8,113	8,487	8,290
特定財源（国・県・他）	千円	14	14	1
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	葛生文化センターを適切に維持できていることにより、利用者数が増加している。
------------------	---------------------------------------

（４）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
葛生地区公民館利用者数	人	3,159	4,954	5,569	値が大きいほど良い	効果が上がった
葛生化石館利用者数	人	11,787	16,606	16,481	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった	
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	1指標	
	指標全体	効果は変わらない	

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった	○	
	費用の増減無し		
	費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設が老朽化しており、施設の適切な修繕による維持、改修等の検討が必要。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 利用者が安全、安心、安全に公民館を利用できるように、施設、備品の適切な修繕などを行っていく。また、耐震性能を満たしていないので、耐震補強工事等を行う。
---	---

事業名	葛生地区公民館市民教養講座開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	生涯学習課		葛生地区公民館市民教養講		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	葛生地区公民館		座開催事業		項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	H17	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	－	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
				社会教育法 佐野市公民館条例						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	葛生・常盤・氷室地区公民館における市民教養講座開事業。
------	-----------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民の抱える様々な問題解決のための学習機会と余暇を利用して楽しみ学習できる機会を提供する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		葛生地区公民館開催回数	人	13	15	15	15	15
		常盤地区公民館開催回数	人	11	15	15	15	15
		氷室地区公民館開催回数	人	4	10	10	10	10

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	各公民館、市民を対象に参加者を募集し、教養講座を開催した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		葛生地区公民館講座参加者数	人	209	381	342
		常盤地区公民館講座参加者数	人	144	169	218
		氷室地区公民館講座参加者数	人	84	227	269
		事業費計	千円	149	206	169
		一般財源	千円	149	206	169
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	全体として、講座の開催回数は昨年より減少したが、参加人数は増えている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		葛生地区公民館開催回数	人	13	18	16	値が大きいほど良い	効果が下がった
		常盤地区公民館開催回数	人	11	16	16	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		氷室地区公民館開催回数	人	4	15	12	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	2指標		費用の増減無し		○
	指標全体	効果が下がった		費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市民が参加したいと思えるような講座内容を検討・企画し、多くの方に参加していただけるような講座を開催する必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 参加者に対するアンケート結果の分析や時代のニーズをとらえることにより、より多くの方が参加し、満足度の高い講座を企画する。また、オンライン開催については、要望があれば対応していく。
---	---

事業名	生涯学習推進計画策定事業	実施計画事業or一般事業		実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		－		款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	－		開始年度	H29	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	－	事業分類	計画策定・管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	第 2 次佐野市生涯学習推進中期基本計画が令和 7 年度に終了となるため、令和 8 年度から 1 1 年度までの 4 か年を計画期間とした第 2 次佐野市生涯学習推進後期基本計画を策定する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民一人ひとりの参画と協働による「市民参加による自立したまちづくり」の実現を図る。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
日頃から生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	30	31	32	33	34

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	-
----------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
事業費計	千円	90	0	0
一般財源	千円	90		
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	日頃から生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合はほぼ横ばいである。
------------------	-----------------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
日頃から生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	35	34	33	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓ 選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	
効果（R5とR4の指標値増減）	
効果が上がった指標数	0指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	1指標
指標全体	効果が下がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

今年度事業なし。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	社会教育委員設置事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		社会教育委員設置事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法（第15条、第17条、第18条）		開始年度	S24	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度		事業分類	審議会等運営事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進			佐野市社会教育委員条例			

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	社会教育行政に係る諮問機関として、学校教育及び社会教育、家庭教育関係者並びに学識経験のある者の中から社会教育委員を設置する。社会教育委員は教育長を経て教育委員会に助言し、社会教育活動の拡充・振興を図る。
------	---

（2）目的

目的（本事業によって成し遂げたい状態）	社会教育行政に関し、教育委員会に助言し、社会教育活動の拡充・振興を図る。 社会教育に関する適切な諸計画を立案してもらえるよう、必要な調査研究のための機会（研修等）を提供する。
---------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
社会教育委員数	人	18	18	18	18	18
社会教育委員会議出席率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績（R5年度に行った主な活動内容）	・社会教育委員会議の開催（7月6日、1月31日） ・関東甲信越静社会教育大会栃木大会準備委員会（5月30日、7月19日、10月19日） ・第54回関東甲信越静社会教育大会 栃木大会（11月21日～22日） ※R5年度は関東甲信越静社会教育大会が栃木で開催されたため、社会教育委員研修の開催はなし。
----------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
社会教育委員会議開催数	回	2	2	2
社会教育委員研修出席者数	人	3	4	8
事業費計	千円	179	202	210
一般財源	千円	179	202	210
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明（定量及び定性）	社会教育に関する適切な諸計画を立案してもらえるよう、必要な調査研究のために機会（研修等）を提供する。社会教育行政に関して教育委員会に助言する等し、社会教育活動の拡充・振興を図る。
--------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
社会教育委員数	人	18	18	18	値が大きいほど良い	効果は変わらない
社会教育委員会議出席率	%	88.8	75.0	80.0	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の）	効果が上がった指標数1指標
	効果は変わらない指標数1指標
	効果が下がった指標数0指標
	指標全体効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
費用	費用が下がった	効果が上がった	効果は変わらない
	費用の増減無し	効果が下がった	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度は栃木県で関東甲信越静社会教育大会が開催され、社会教育委員研修を兼ねていたため参加者が多くなった。令和6年度は通常開催予定であるため、より多くの委員に出席してもらえるよう周知を図り、参加を促す。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 社会教育委員に対し、より積極的な研修等への参加を呼びかけ、社会教育活動の振興・拡充を図る。
---	---